

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	諫早市手をつなぐつくしっ子		
○保護者評価実施期間	令和7年3月8日		～ 令和7年3月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和7年3月8日		～ 令和7年3月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様とお子様について常に話し合える関係	保護者様に登園、降園の送迎をお願いすることで直接、玄関で対面しその日のお子様の様子を伝えたり、ご家庭の様子を聞くことができる。	保護者様と離れて過ごす活動中の様子を写真や動画等で、できるだけ多く伝える。活動様子を見て頂くことで、更にお子様についての話を深めていけるよう取り組む。
2	法人こども棟のインクルーシブ保育の実践	つくしっ子保育園のリトミック活動への参加、園庭遊び時の子どもたち同士の自発的な交流。	実施回数が少なかった為、今後は実施回数を増やしていき、実施した場合のお子様の様子を保護者様に伝えていく。
3	適切な支援の提供のために話し合える職場環境及び職員の専門分野への研修参加意欲が高い	その日の活動について振り返りの時間を作り、振り返りノートに記録し全職員共有することで次の支援につなげている。スタッフ会議で支援や虐待、身体拘束等を議題とし話し合う場がある。	振り返りノートや会議録等で共有しているが、職員間で十分に話し合う時間を持ちたい。支援のために話し合う時間を十分取れるように更に業務改善を図っていく。職員配置により日中の外部への研修参加、事業所見学ができにくい現状がある。日中の外部研修に参加できる十分な職員数の配置を行うと共に、支援後の勤務時間にeラーニング研修、OT・STなど専門職の外部講師を招いた研修計画を取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定員10名が満員になった場合の子どもたちが安全に過ごすための物理的、人的環境設定	10名利用時に活動部屋が手狭になる為、2グループに分け例えば園庭遊びや外出活動、室内療育など活動を分けるとしても現在の職員配置では安全な支援を行うには懸念がある。	利用人数に応じて十分な職員配置を行い、利用前に活動計画を今ある環境で安全に実施できるように職員間で話し合う時間を確保する。物理的に不要な物の整理整頓に日々取り組む。
2	非常時の対応の周知について	避難訓練の実施、マニュアルの説明、BCP計画等について保護者様への周知がきちんとできていない。	事業所で取り組んでいる避難訓練の様子の報告やBCP計画及びマニュアル等があることを機会あるごとに保護者様に伝えていく。
3	家族支援及びきょうだい支援	育成会行事に運動会やクリスマス会に事業所単位で参加したり、おしゃべり会の開催をすることで保護者様同士のつながりの支援になると考えていた。	行事参加やおしゃべり会の他にも、保護者様が求めている家族・きょうだい支援とはどういうものなのか、保護者様の意見を取り入れつつ、育成会にも打診しながらきょうだい当事者の交流会や当事者保護者様を招いての講演会など企画していきたい。